

飯田自然エネルギー大学のご案内

1、大学趣旨

飯田自然エネルギー大学は、2004 年から自然エネルギー事業に取り組むおひさま進歩エネルギー株式会社（長野県飯田市）が、これまでの事業経験をもとに全国でエネルギーの地産地消を推進する目的で2016年に開校しました。太陽光や小水力、バイオマスなど地域に根ざした自然エネルギー事業に取り組む人や、新電力事業など地域のエネルギー経営に携わる人の育成を目指しています。

自然エネルギーの幅広い専門知識と実践力を身につけ、全国各地で自然エネルギー事業や地域のエネルギー経営に携わる人を更に増やしていくことを目指しています。

2、実施内容

(1) カリキュラム

本校のカリキュラムは、自然エネルギー事業を通じて地域の中で雇用や資金循環を生み出し、安心して暮らし続けられる持続可能な地域を増やしていくことを前提に編成しています。

2年間かけて講義と実地研修、事業化に向けて力を養うための事例研究を段階的に進めて、最終授業では受講生全員が事業計画を作成して発表会を行う。

- ・講義と実地研修、事例研究を組み合わせた2日間のプログラムを年10回、長野県飯田市を主会場に行う。
- ・講義カリキュラムは、飯田自然エネルギー大学学長の諸富徹教授（京都大学大学院経済学研究科）が監修する。毎回、自然エネルギーの研究者や事業者、金融関係者等を講師に迎える。
- ・実地研修は、飯田市周辺および先進地域で自然エネルギー事業に取り組む事業者や関係施設を訪問して現場の課題を学ぶ。飯田市から離れた先進地域を訪問する場合、現地集合となる場合もある。
- ・事例研究は、受講生の事業構想をもとにグループワークで事業計画を作成する。
- ・最終授業では全員が事業計画を作成して発表会を行う。

(2) 講師

講義カリキュラムの講師予定者は、次の通り。

諸富徹(京都大学大学院経済学研究科 教授)

高橋洋(都留文科大学社会学科 教授)

竹濱朝美(立命館大学産業社会学部 教授)

東愛子(尚絅学院大学総合人間科学部環境構想学科 准教授)

竹ヶ原啓介(日本政策投資銀行執行役員産業調査本部副本部長)

木村啓二(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)

安田陽(京都大学大学院経済学研究科 特任教授)

相川高信(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員)

榎原友樹(E-konzal 代表取締役)

原亮弘(おひさま進歩エネルギー株式会社 代表取締役)

※このほか自然エネルギーの研究者や事業者、金融機関等の講師を予定しています

※参考資料として第1期生カリキュラムをご確認ください

(3) 主会場

飯田市旧飯田測候所（長野県飯田市馬場町3-411）

※実地研修で自然エネルギー事業現場を訪問するなど、他会場で行う場合もあります

(4) 開催日程および第1年次授業内容

年10回、2日間の日程で授業を開催します（4月、8月を除く）。

土曜日の講義は90分授業を2コマ実施。1コマ目は講師による講義、2コマ目は講師と受講生の双方向授業（グループディスカッション、質疑応答等）を行う。日曜日の実地研修や講義は、原則として午前中に行います。2018年度（第1年次）の開催日程、講師は次の通りです。

第1回 5月26日（土）13時30分～18時

入学式、講義「再生可能エネルギーによる地域再生」

講師：諸富徹（京都大学大学院経済学研究科教授）

5月27日（日）8時30分～12時

講師：原亮弘（おひさま進歩エネルギー(株)代表取締役）

<第1回授業の課題レポート>

課題テキスト：「エネルギー自治」で地域再生！－飯田モデルに学ぶ（岩波ブックレット）

著者：諸富徹／出版社：岩波書店

レポート内容：本書を読んだ上で、再エネ事業を通じて地域を再生していくには何が必要か、自らの経験、構想も交えて論じて下さい

文字数：1500～3000字

提出期限：5月24日（木）

提出方法：事務局へ電子メール、郵送、FAXにて提出する

※テキスト購入は各自負担となります。書店やインターネット等でご購入下さい。

第2回 6月30日（土）14時～17時30分

講義「エネルギー問題と再生可能エネルギーの可能性」

講師：高橋洋(都留文科大学社会学科教授)

7月1日（日）8時30分～12時

実地研修①飯田市周辺の自然エネルギー施設の見学、関係者との意見交換

第3回 7月21日（土）14時～17時30分

講義「再生可能エネルギーの電力網への系統連系、制度と情報開示」

講師：竹濱朝美(立命館大学産業社会学部教授)

7月22日(日) 8時30分～12時

実地研修②飯田市周辺の自然エネルギー施設の見学、関係者との意見交換

第4回 9月中旬の土曜日 PM

講義「再生可能エネルギーの経済学」(仮)

講師：東愛子(尚絅学院大学総合人間科学部環境構想学科 准教授)

9月中旬の日曜日 AM

講義または実地研修

第5回 10月中旬の土曜日 PM

講義「再生可能エネルギーとファイナンス」(仮)

講師：竹ヶ原啓介(日本政策投資銀行執行役員産業調査本部副本部長)

10月中旬の日曜日 AM

講義または実地研修

※11月～2019年3月に第6回～第10回授業を開催します

(5) 課題レポート

- ・講義に先立つ事前学習として、毎回、土曜日に開催する講義の講師が指定したテキストを読み、事前に課題レポートを提出する。
- ・レポートは講師が5段階評価を行い、講義後に成績通知書を発行する。
- ・締切日時を過ぎて提出する場合、講師評価は受けられない。また、レポート受付は講義前日までとする。

(6) 修了証

2年間のカリキュラム修了時、一定の要件を満たした受講生には、飯田自然エネルギー大学を修了したことを証明する「修了証書」を発行する。

3、受講料・費用について

(1) 受講料

1年間につき3万円(各年次の第1回授業前に全額を納付する)

(2) 交通・宿泊費

受講生が各自負担する。

飯田市から離れた地域で先進事例の視察研修を行う場合も同様とする。

(3) 課題テキスト

受講生が課題テキストの購入を希望する場合、各自負担する。

【申込み・お問合せ】

一般社団法人飯田自然エネルギー大学

電話 0265-56-3713／F A X 0265-56-3712

担当 伊藤、菅沼



<第1期生の開催状況>

飯田自然エネルギー大学第1期は2016年5月～2018年3月に開催しました。長野県内のほか東京、栃木、愛知、香川、鹿児島など全国から22名が受講。2年間にわたり講義や実地研修、事例研究を行って、最終授業で事業計画発表会を行いました。第1期生の授業の様子をご紹介します。

■講義



専門家の講師による座学



事例研究グループワーク



事例研究グループワーク



事例研究の発表会

■実地研修



太陽光屋根貸し事業の現地視察（飯田市）



地域の事業関係者とのディスカッション（飯田市）



小水力発電事業現場の現地視察（飯島町）



木質バイオマス事業の現地視察（根羽村）

■第1期受講生の事業計画

第1期生が最終授業で発表した事業計画の一部をご紹介します。

「地域熱供給×林業」

「地域事業体が主体となった太陽光屋根貸し事業」

「観光客100万人超を目指して～小水力発電事業を絡めた観光客数増加計画」

「市民の電力グループ購入で地域に分散型エネルギー市場をつくる」

「信州再生エネルギーを利用したキノコ菌床生産」

■第1期受講生の声（卒業後のアンケートより抜粋）

「自然エネルギーについて、第一線の専門家や事業者から最先端のことを学ぶことができた」

「事業を達成する方法や情報の取得やすでに事業を進めている人、一緒にできそうな人達に出会うことができ大変参考になりました。」

「起業の道筋や可能性、また自分の興味が薄かった再エネの重要性や可能性を学べたことが大変貴重でした」

「2年間すばらしい講師の方々に教えて頂き、目的以上のものを学んで勇気を頂きました」

「講義で話を聞くことも勉強になりますが、受講生同士の話やつながりの中から学ぶことも多いのではないかと思います」

「実践している人の失敗談や苦労したことを聞いたのは大変参考になった。普通の講演会では聞けなさそうなことも聞いたことがエネ大の良いところだと思う」

※第1期カリキュラムは別紙をご確認ください